

## Ⅶ 久喜市いちょうの木 事業報告

令和3年度事業計画に基づいて以下の事業を行いました。

### (1) 実施事業

定員と現員

令和4.3.31現在

事業名	定員	現員
生活介護	40名	39名（男性26名、女性13名）

### (2) 利用者の状況

ア 年齢構成

年齢	～19	20～24	25～29	30～39	40～49	50～59	60～	平均
男性	0	0	1	12	7	4	2	43.5歳
女性	0	0	0	5	5	3	0	43.6歳
計	0	0	1	17	12	7	2	43.5歳
%	0	0	2.6	43.6	30.8	17.9	5.1	

イ 障害支援区分

区分	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均区分
男性	0	7	7	12	26	5.2
女性	0	3	4	6	13	5.2
計	0	10	11	18	39	5.2
%	0	25.6	28.2	46.2	100	

ウ 療育手帳及び身体障害者手帳の所持状況

	療育手帳				計	身体障害者手帳					計
	㊤	A	B	C		1級	2級	3級	4級	5級	
男性	19	7	0	0	26	2	3	0	0	0	5
女性	10	2	1	0	13	3	1	0	1	0	5
計	29	9	1	0	39	5	4	0	1	0	10
%	74.4	23.0	2.6	0	100	50	40	0	10.0	0	100

### (3) 職員体制

職 種	配置人数	備 考
施設長	1	サービス管理責任者兼務
主査支援員	1	相談支援専門員兼任
主任支援員	1	
生活支援員	16	常勤13名 非常勤3名
看護師	1	法人内他事業所兼務
栄養士	1	法人内他事業所兼務
事務員	1	

運転員	2	
計	26	

## 2 重点実施事項

### (1) 新型コロナウイルス感染予防対策の徹底とそれを踏まえた上での社会参加の促進

感染症対策マニュアルの見直しを行い、感染対策の強化を図りました。その上で新型コロナウイルス感染拡大の状況を注視しながら活動に取り組みました。とりわけ、オンラインを活用した他事業所やご家族との交流、作品販売等の情報発信は好評で新たな試みとして成果のあるものでした。

### (2) 利用率の向上

新型コロナウイルス感染症の影響で利用を自粛される人も多くいましたが在宅支援を行うことで対応しました。しかし、定員の充足が図れなかったことや長期間の入院を要した人もいたため、昨年度よりも利用率は低下しました。

### (3) 作業工賃収入の向上

作業収入額については昨年度よりも下回りましたが、相当の収入が確保できたため、年3回だった工賃支給を4回に増やすことができました。イベント等による販売の機会はほとんどありませんでしたが市内店舗での陳列やインターネット販売などで収益を得ることができました。

## 3 事業報告

### (1) 利用者支援

#### ア 支援方針

本人の意思を尊重する関わりや強みを生かした取り組みを実践し、状態像や環境の変化に配慮した支援を行いました。

#### イ サービスの提供

(ア)今年度においても新型コロナウイルス感染症の影響により様々な活動場面で制限せざるを得ない状況が続きました。外出を伴う行事や人が密集しやすくなる交流行事等は中止または感染対策を十分に行った上で縮小、代替して実施しました。とりわけ、オンラインを活用した他事業所との交流や行事の様子を家族に配信する等の試みは一定の成果を得られました。

(イ)食事や排せつ等の日常生活支援は感染対策としてマスク、フェイスシールド、手袋等を着用して支援を行いました。作業活動では人数の分散やアクリル板の設置、ソーシャルディスタンスの確保を行って活動に取り組みました。今年度の作業活動による収入は以下の通りです。

#### <作業活動収入>

支給日	4月8日	7月9日	10月8日	1月7日	年間合計
支給額	149,382円	205,104円	219,300円	200,882円	774,668円
平均支給額	3,830円	5,259円	5,623円	5,151円	4,966円
最高支給額	4,644円	5,712円	6,200円	5,612円	5,542円

最低支給額	0円	3,072円	0円	0円	768円
-------	----	--------	----	----	------

※昨年度年間支給額 887,545円 昨年度比 -112,877円

#### ウ 虐待防止対策

「障害者虐待防止に関する諸制度」「強度行動障害の理解」「権利擁護」について内部研修を行いました。また、虐待防止チェックリストを活用し、個人の課題や事業所としての課題について職員間で共有し、課題解決のための意見交換を行いました。昨年度実施したチェックリストの点検結果と比べると自己点検による評価は高い傾向にありましたので意識の向上は図られてきていると思われま

す。新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から外部研修への参加は行いませんでした。

### (2) 働きやすい職場づくり

#### ア 効果的な業務の改善

グループ会議・リーダー会議を定期開催したことで議論が活発化され、横断的な取り組みが出来るようになりました。これまでは介護度の高い人やコミュニケーションに課題のある人への対応が出来る職員は限られていましたが、グループ間での議論が増えたことで情報の共有が図れ、実践につながるようになりました。

#### イ コミュニケーションの円滑化

主任と主査による中間面接と最終面接を実施しました。面談においては業務に関すること以外のことも相談できる機会となり、その後の関係性も深まり、相談しやすい環境が構築できつつあります。

外部講師によるコミュニケーション研修は実施できませんでした。

#### ウ 労働災害の防止

年3回、リスクアセスメントチェック表を活用して危険個所の点検を行いました。普段見落とししやすい箇所の点検が出来たため、事故防止に大いに役立ちました。また、労働災害に該当するような事故はありませんでした。

#### エ 年次有給休暇の取得促進

1人年平均13日の取得ができました。昨年度よりも1人平均1日の減少でしたが、比較的良好な年次有給休暇を維持できました。

### (3) 人材育成

#### ア OJTの強化

研修名	期日	参加職員
事業所内部研修 「制度から見た、社会的役割」	令和3年4月28日	常勤職員17名
事業所内部研修 「障害者虐待の歴史から背景を知る」	令和3年5月26日	常勤職員18名
事業所内部研修	令和3年8月26日	常勤職員18名

「虐待事例から考える」		
事業所内部研修 「障害福祉制度の動向について」	令和3年9月22日	常勤職員 17名
事業所内部研修 「強度行動障害の背景」	令和3年11月24日	常勤職員 17名
事業所内部研修 「権利擁護ってなんだろう？」	令和3年12月22日	常勤職員 18名
事業所内部研修 「感染症についての知識と理解」	令和4年1月20日	常勤職員 18名

イ OFF-JTの積極的な参加 ※オンラインによる参加

研修名	期日	参加職員
株式会社エイドケアガレッジ 「強度行動障害者支援者研修」	令和3年4月12日	菅原 由華
株式会社ジェイアイシー 「事故防止・危険予知トレーニング」	令和3年4月16日	大津 政裕
埼玉県アートネットワーク 「グッズ販売研修」	令和3年6月17日	菅原 由華 西村 春美
埼玉県発達障害福祉協会 「虐待防止研修・権利擁護研修」	令和3年6月23日	常勤職員 17名
埼玉県 「サービス管理責任者等更新研修」	令和3年6月25日	中村 秀樹
埼玉県アートネットワーク 「アートレクチャー研修」	令和3年7月15日	菅原 由華
埼玉県発達障害福祉協会 「感染症対策研修」	令和3年10月12日	古見 梨絵
日本知的障害者福祉協会 「日中活動支援部会全国大会」	令和3年10月15日	中村 秀樹
日本知的障害者福祉協会 「全国施設長等研修」	令和3年11月2日	中村 秀樹
埼玉県セルフセンター協議会 「製品作成（販売）研修」	令和3年11月11日	川崎 由衣
埼玉県総合リハビリセンター 「口腔ケア研修」	令和3年11月15日	西村 春美
埼玉県発達障害者支援センター 「自閉症（ASD）講習」	令和3年12月15日	野中 正臣
リーオンオン三一 「虐待防止・防災・接遇研修」	令和3年12月1日～ 令和3年12月28日	常勤職員 7名
埼玉葛北・久喜地区自立支援協議会 「人材育成研修」	令和3年3月4日	川崎 由衣

#### (4) リスク管理

##### ア 避難訓練の実施

震災を想定した訓練と火災を想定した訓練を消防署立ち合いのもとで年2回実施しました。密にならないように数カ所の避難経路を想定したり、避難場所も人数と場所を分散して行いました。消火訓練には利用者にも参加してもらい、防災意識の向上につながりました。また、毎年実施している地元73区の自主防災組織による合同防災訓練は感染予防対策の観点から今年度も中止とりました。

##### イ 守秘義務の徹底

法人の規定する「個人情報に対する基本方針」及び「個人情報の利用目的とその取扱い」を掲示し常に確認できるようにしました。また、広報関係や関係機関における会議等で情報を必要とする場合には本人、家族に説明し同意を得て行いました。支援中においても同様で、利用者とその家族のプライバシーに関することは他者の前で話題としないことを徹底しました。

##### ウ 建物、設備等の老朽化への対応

- (ア)すべての水道を自動水洗に交換しました。
- (イ)床の歪みが大きい箇所を修繕しました。
- (ウ)壁紙のはがれや痛みの激しい箇所を交換しました。

##### エ 機能低下が見られる人の支援中の事故防止への対応

年2回、市内の鍼灸マッサージ師に来所してもらい身体機能維持のために必要なスキルを学び、安全で効果のある適切な取り組みが出来るようにしました。また、摂食に課題のある人が増えてきているため、月1回の給食会議で摂食状態のアセスメントを行い、安全な食事提供を行いました。障害のある人の接触に関する研修にも参加し職員全員で共有を図りました。

#### (5) 感染症防止対策

##### ア 3密を避けた活動の工夫

人数と場所を分散して活動を行いました。少人数化や場所が分散されたことによってひとり一人の集中力が高まったり、より個人の特徴に合った作業種を提供することができました。

##### イ 飛沫防止の対応

以下の対策を講じて実施しました。

- (ア)マスクの着用と手指の消毒の徹底
- (イ)身体接触を伴う介助（食事、移乗、洗面、身体訓練）の際の手袋とフェイスシールドの着用
- (ウ)定期的な施設内の消毒
- (エ)対面を避けた食席やアクリル板の設置

##### ウ 体調管理

1日3回（出勤時（登所時）、14:30、退勤時（降所時））の体温測定を行い、症状の早期発見に努めました。

#### (6) 地域交流

ア 毎年恒例となっている地域との交流行事は新型コロナウイルス感染症の拡大により今年度も実施できませんでした。

イ 広報誌の年3回の発行

年4回発行しました。関係各所に配布し、活動の様子等について広く周知してもらおうようにしました。

ウ 見学者、実習生、ボランティアの受入れ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により感染予防対策の観点から、見学者及びボランティアの受入れは行いませんでした。実習生の受入にあたっては学校側と協議し実習時間の短縮等の対策を図った上で以下の受入を行いました。

〈実習生の受入れ〉

学校等所属	内容	期間	人数
久喜看護専門学校	看護実習	令和3年6月7日～令和3年6月11日	1名
久喜看護専門学校	看護実習	令和3年6月28日～令和3年7月2日	1名
久喜看護専門学校	看護実習	令和3年7月5日～令和3年7月9日	1名
久喜看護専門学校	看護実習	令和3年7月12日～令和3年7月16日	1名
埼玉福祉専門学校	保育実習	令和3年7月19日～令和3年7月30日	1名
城西大学	介護等体験実習	令和3年8月2日～令和3年8月6日	1名
久喜看護専門学校	看護実習	令和3年10月4日～令和3年10月7日	1名
久喜看護専門学校	看護実習	令和3年10月11日～令和3年10月15日	1名
平成国際大学	介護等体験実習	令和3年10月18日～令和3年10月22日	1名
平成国際大学	介護等体験実習	令和3年10月25日～令和3年10月29日	1名
上武大学	介護等体験実習	令和3年11月8日～令和3年11月12日	1名
久喜看護専門学校	看護実習	令和3年12月14日～令和3年12月17日	1名
延べ 12校		延べ日数 74日	12名

エ 自主製品の販売

広報誌や法人のホームページを活用して製造販売を行いました。また、市内の店舗に陳列させてもらったり、インターネットのサイトに製品を登録して販売しました。市内の店舗の製品は好評で住民の方の注文をいただくことが多く、作業工賃収入の向上になっています。

オ いちょうの木まつりの開催

新型コロナウイルス感染症の影響で地域の方や外部の方を招いての開催はできませんでしたが、利用者・職員のみで開催しました。出来る範囲で例年の様子に近い環境になるよう工夫し、まつりの雰囲気を楽しむことができました。

カ 清久コミュニティ協議会への参加

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で協議会の活動が控えられたので参加はできませんでした。

## (7) 事業運営

ア 利用率の向上

※昨年度比：-3.9%

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	22	19	22	23	22	21	22	21	21	20	13	22	248
延利用数	788	698	811	822	783	739	792	743	740	724	491	820	8,951
利用率 %	89.5	91.8	92.2	89.3	89.0	88.0	90.0	88.5	88.1	90.5	94.4	93.2	90.2

イ 土曜開所の実施

※昨年度比：-2人

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数	26	27	0	24	30	25	35	26	25	26	0	0	244名

ウ 夏季期間中の開所

今年度は夏季開所日は8月13日のみで利用された人は30名でした。

エ 久喜市日中一時支援事業

※昨年度比：+13人

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数	3	3	5	4	2	4	3	2	5	2	1	4	38名

オ 送迎サービスの実施

公用車3台、5ルートで対応しました。利用された人は30名です。感染予防対策として走行中の換気や乗降時の手指の消毒、添乗職員のマスクとフェイスシールドの着用、降車後の消毒の徹底を行いました。

カ 経費の削減

支出予算額に対して98.3%の執行率でした。また、昨年度とほぼ同額の支出額だったので大きな削減とはなりませんでしたが。消耗品類は削減できましたが感染予防対策に関する備品の整備で日用品による出費が目立ちました。